

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
平成28年度事業点検・評価調書

4-I-13

4-I
-13

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備		取組項目	外国人観光客の受入環境整備
	節	I.アクセスルートの整備・来訪者の誘導等		
事業(施策)名	13 案内サイン等の多言語化		事業主体	佐渡市観光振興課
	事業実施期間	H28~H34		関連団体 県交通政策課、佐渡地域振興局(企画振興部、地域整備部)、佐渡市交通政策課、佐渡市建設課、佐渡汽船(株)、新潟交通佐渡(株)
事業概要	【事業目的】	○案内サイン等の多言語化により外国人観光客の受入環境整備を図る。		
	【事業内容】	○公共施設、佐渡汽船ターミナル等公共交通機関施設における案内サインについて多言語化を進める。		
事業実績	【事業成果】	<ul style="list-style-type: none"> ●今年度は、島内在住のALTや国際交流員10名により1泊2日のモニターツアーを実施し、定期観光バスを活用し、立寄り施設等のモニター調査を行い、実際に外国人の目線で移動や案内の現状について調査した。 ●佐渡観光協会と共同で、直江津~小木港を利用する外国人FITを対象に、小木港から南佐渡観光案内所までの300m間の歩道5箇所誘導案内標示を設置した。 ●佐渡汽船では、ターミナルに多言語表記に対応したデジタルサイネージの設置を進めた。 		
	【課題】	<ul style="list-style-type: none"> ■ALT等によるモニターでは、定期観光バス車内の案内が日本語のみである点が課題。観光施設内の英語表記に間違いがあるものが見受けられた。 		
今後の取組・課題	【今後の取組】	国際交流員等の目線による公共施設、佐渡汽船ターミナル等公共交通機関施設の誘導標示の設置状況の見直しを行い、記載済の標示については内容拡充を図る。		
事業評価	【事業の達成度】	[a・ b ・c]	◇島内のコンテンツとそれを周知する手法、FITが中心となっていくトレンドを見極め現状を分析できた。今後は、得られたデータ等を活かし施策に反映させる予定である。	
	【事業実施の効果】	[a・ b ・c]		
	【総合評価】	[A・ B ・C]		

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。